

2013年4月8日

慶應義塾大学大学院経営管理研究科

グローバル・ビジネス・フォーラムによる
日本のグランド・デザイン策定を行う融合型実践教育

Grand Design by Japan
Special Seminar

Project and Program Management for the Grand Design

特別セミナー案内

2013年7月6日ー7日, 15日

拝啓

ますますご清栄のことと拝察いたします。

当プログラムでは、Project& Program Management 教育で世界的に活躍されている田中弘講師をお招きし、7月に3日間の集中セミナーを英語（必要に応じて日本語で補助）を使用し、実施します。

日本の経済、ビジネス、社会において、何を、どのように取り組むべきかという重要な課題を、Project & Program Management の基礎的な経験と知識を得ることを通して検討します。さらに、将来のグランド・デザインを策定するために不可欠な、多様な視点、課題設定、分析方法、協働の方法を理解することができます。詳細は添付のセミナー概要（日本語と英語で解説）をご覧ください。

なお、今年度のグランド・デザイン策定の融合型教育では、世界との共生・協創による日本の発展と国際的なインフラストラクチャ開発を強調しております。このため、今回のセミナーにおいても、日本企業のインフラストラクチャ・ビジネスやグローバル化時代のビジネスの創出を強調した運営をいたします。

この3日間の集中セミナーについて、10名の社会人の参加者を募集しております。ご応募の検討をいただきたく、お願い申し上げます。

慶應義塾大学大学院経営管理研究科の「グランド・デザイン策定の融合型教育」プログラムでは、融合型社会人教育により日本のグランド・デザイン策定を行うという目的を掲げ、プロジェクトとフォーラムを中核とする通年の教育活動に、取り組んでおります。4年目の2013年度プロジェクトとしては、震災後の日本と世界を題材にした、ジャパン・アズ・コア的ビジネスモデル、農業、水産業、地域などの各プロジェクトを予定しております。ご案内している特別セミナーは、このグランド・デザイン策定の融合型教育プログラムのオリエンテーションとしても位置付けております。併せて参加のご検討をいただきたくお願いします。

敬具

慶應義塾大学大学院経営管理研究科 担当 姉川知史（富士通チェアシップ教授）

keio.grand.design@gmail.com

Tel. 045-564-2015, Fax. 045-562-3502

7月6日-7日, 15日 (3日間集中)

(i) 本セミナーのみに参加する社会人 10名 (今回募集)

(ii) 「グランド・デザイン策定の融合型教育」プログラム参加者 20名 (選抜募集)

下記要領で, 参加者を募集します。

内容 「日本のグランド・デザインを策定する融合型実践教育」による3日間の特別セミナー
特別セミナー「グローバル・ビジネス・セミナー」“Project and Program Management for the Grand Design”

日程 2012年7月6日(土), 7(日), 15日(月, 祝日)

場所 慶應日吉キャンパス 協生館5F エグゼクティブ・ルームと討議室

実施主体 慶應義塾大学大学院経営管理研究科「ビジネス・教育研究開発室」ならびに
「グランド・デザイン策定の融合型教育プログラム」

企画・監修 姉川知史 Ph.D. 慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授

講師 田中 弘 (別紙)

言語 英語 (必要に応じて補助言語として日本語を使用)

参加者 (i) このセミナーのために新規募集する社会人 10名 **募集形態 1**

(ii) 「グランド・デザイン策定の融合型教育」プログラム参加者から 20名選抜 **募集形態 2**

最小挙行人数 15名, 最大挙行人数 40名前後

全体として, 学部学生, 経営管理研究科学生, 他研究科学生, 社会人, 教員, その他の各層からバランスよく参加者を募り, 融合型教育を行う。

修了書 本セミナー修了者のうち(i) (ii)の参加者には, 慶應義塾の修了書を授与する。修了要件は3日間を通した出席と, 講師による評価。

なお, 本企画に協賛する(特)日本プロジェクトマネジメント協会から, 下記を授与いただきます。

①修了者が同協会の国際P2M資格者と同等であることを記載した英文修了書

②プロジェクトマネジメント資格維持に必要な学習ポイント証明書、あるいは、各種プロジェクトマネジメント資格取得に必要な事前学習ポイント証明書を発給する(ポイント数は正味セミナー時間により決定)

料金 3日間6万円/人。日本のグランド・デザインを策定する融合型実践教育プログラムからの選抜者は料金を免除の予定

セミナー詳細説明 (別紙)

申込 詳細 http://anegawa.kbs.keio.ac.jp/Grand_Design_Project/index2.html

本案内は上記「申し込み」”2012 Special Seminar Project and Program Management”にあります。

http://anegawa.kbs.keio.ac.jp/Grand_Design_Project/Grand_Design_by_Japan_20120707ver5.pdf ページ目を印刷して Fax.045-562-3502 あるいは e-mail keio.grand.design@gmail.com までお送りください。

この案内文は下記にあります。 <https://sites.google.com/site/keiogranddesign>

以上

Project & Program Management for Grand Design セミナーの概要

セミナー開催の背景

2008年時点に、世界銀行の統計や世界のプロジェクトマネジメント研究者が行った推計によると、世界全体でプロジェクト投資とプロジェクト型事業（製造業のプロジェクト化など）がGDPに寄与する比率は約33%であったが、この比率は、リーマン・ショック、ユーロ危機、世界同時不況を経て、現在では、先進国と新興国においては50%程度にまで上がっていると推定される。つまり、

- 多くの産業分野において、既存ビジネスの全体のパイと自社シェアが縮小するなかで、成長を維持するためには、新たな製品やサービスを継続的に投入するプロジェクト型ビジネスが不可欠となっている。
- 多くの国、地域で財政難が続いており、公共サービスの在り方に機動性、革新性（プロジェクト性、民活の利用）が求められている。
- また、山積する社会課題は伝統的な静的な公共マネジメントのみでは解決できない。
- 新興国には、社会基盤の高度化や、新中間層に向けた市場機会があり、また、新興国と途上国共に慢性的なインフラ（特に電力、輸送手段）不足が顕著であり、インフラプロジェクトは巨大な市場となっている。

このような状況では、次のような知識と基礎スキルを習得することがプロジェクト時代の経済と社会で勝者となるための一つに条件になる。

- ✚ 特定目的の達成活動を行ううえで、活動を30%短い期間で、30%低いコスト（あるいは資源）で達成するための、プロジェクトマネジメントが提供する高効率段取り知識、スキル
- ✚ より高い価値を提供するプロジェクトを組成するために、プロジェクトの総合的な目的の設定、複数の機能・手段（技術など）・ステークホルダー（参画者・関係者）を合理的に複合し、またプロジェクト実現のための資金調達（ファイナンス）を計画するための知識
- ✚ プロジェクト業務の生命線である「プロジェクトマネジャー、リーダー、チーム員として動ける」、「プロジェクトマネジャー、リーダーとして人を動かせる」、ためのプロジェクト組織・コミュニケーションの知識とスキル
- ✚ プロジェクトは、賛同し、支援し、協働してくれる人達がいて初めて成立する。「プロジェクト計画を売り込む」ための、ストーリーリングとプレゼンテーションのスキル
- ✚ 現在、第3世代のプロジェクトマネジメントとして世界で定着しつつある「プログラムマネジメント」（高付加価値獲得、イノベーションのための戦略的マネジメント）の基礎知識

本セミナー受講をお勧めする方

社会人で、

- プロジェクトマネジメントが「こなし型」（基本計画が終わっているプロジェクトの遂行を粛々と纏めるタイプ）から、「こなし型」と「創造型」（新しいビジネス価値を獲得するプロジェクトを企画するところから入るタイプ）との混合、に変わりつつあるなかで、創造型のプロジェクトマネジメントを学びたい人
- ビジネススクールの、複数教員・社会人・大学院生による多国籍融合クラス環境で生きたプロジェクト系マネジメントを、英語で、学びたい人
- 日本プロジェクトマネジメント協会発行の国際P2M資格を取得したい方（発行条件は後

日お知らせします。)

大学院・学部学生で、

- プロジェクト化経済時代のマネジメントであるプロジェクト&プログラムマネジメントの知識と基礎知識を、世界の PM 共通語である英語で習得したい人
- プロジェクトマネジャーやプロジェクトリーダーになりたい人
- (新技術) 開発などで、(技術) + α のところを習得したい人
- プロジェクト事業を主体とする企業に就職したい人
- プロジェクトマネジメント資格を保有する人は世界で 200 万人程度居り、世界のビジネスの多くの局面でプロジェクトマネジメント資格の保有の有無、あるいは、プロジェクトマネジメント協会の正規講座あるいは大学で有資格 (Qualified) 教員が教えたプロジェクトマネジメント科目の履修経験が問われる。これに備えたい人。

本セミナーの特長

- レクチャー、クラス討議、ワークショップ演習で構成される。
- グローバル・プロフェッショナル PM 界のリーダーの一人でありフランス、ウクライナ、日本 (国立大学院大学) の大学院でプロジェクトマネジメント専攻教授の資格を持つ主任講師による、グローバル基準のセミナーである。
- 教材は、著作権遵守を条件に、電子ファイルで提供される。
- 国内トップのビジネススクールで、多国籍、複数教員・大学院生・社会人の融合によるクラス進行を通じて、マルチカルチャー下でミニ・プロジェクトを経験できる。
- 慶應義塾大学塾長名のセミナー修了証と日本プロジェクトマネジメント協会理事長・主任講師名義による国際 P2M 資格証 (発行条件は後日連絡) を同時に取得できる。

プログラム

日にち		ブロック	テーマ
7月6日	土曜日	0930 ~ 1000	オンサイト (受講会場) 受講登録
		午前	<ul style="list-style-type: none"> • 開会 • 「プロジェクト」のポジショニング • PM の役割・機能 • PM とプログラムマネジメント • PM 体系の世界地域別比較 • プロジェクトのライフサイクル • プロジェクト開発 (プロジェクトの構想・企画) • PM における基本マネジメント機能 (講義と小演習) ✓ スコープ設定 ✓ プロジェクト組織編成 ✓ プロジェクト・スケジュール設定 ✓ 予算計画

		午後	<ul style="list-style-type: none"> • PMにおける基本マネジメント機能（続き） ✓ プロジェクトにおける品質 ✓ プロジェクトの資源調達 ✓ リスクマネジメント ✓ プロジェクトコミュニケーション • プロジェクト統合マネジメント
7月7日	日曜日	午前	<ul style="list-style-type: none"> ■ ケーススタディ I：技術ベンチャービジネスの立ち上げプロジェクト（米国の例）Professor Kenji Uchino ■ ケーススタディ II:グローバルプロジェクトチームの運営ーコミュニケーションを中心として（日本+ヨーロッパ、アジア）Ms. Taeko Inoue
		午後	<ul style="list-style-type: none"> ■ ケーススタディーに関する質疑応答 • プログラムマネジメント <ul style="list-style-type: none"> ✓ プログラムマネジメントの機能 ✓ プログラムマネジメントの適用例 ✓ プログラムの構想・計画化 ✓ プログラムの構造化 • プロジェクト&プログラムマネジメント テーマワークショップのグループ編成
7月15日	月曜日 （祝日）	午前 午後	<ul style="list-style-type: none"> • プロジェクト&プログラムマネジメントワークショップ ✓ 1000：選定テーマに関するブレインストーミング ✓ 1100：グラム/プロジェクト・ミッション設定、価値分析、プログラム/プロジェクト計画概要書作成 ✓ 1300:ステークホルダー関係分析、組織、WBS、プロジェクト・スケジュール、コスト ✓ 1400：ファイナンス計画、プロジェクト/プログラム遂行戦略 ✓ 1500：発表資料纏め ✓ 1600：演習成果発表各グループ発表 20分+質疑応答/討議 5分 • 1730：纏め

プロジェクト&プログラムマネジメント・ワークショップテーマ候補

- ① クール・ジャパン輸出プロジェクト (プログラム)
- ② エコ・スマートコミュニティー・プロジェクト (プログラム)
- ③ テクノロジー・ベンチャー立ち上げプロジェクト
- ④ 日本農業・水産業の海外展開プロジェクト (プログラム)
- ⑤ (参加者提案プロジェクト)

使用言語

教材,講義と演習の発表は英語とする.講義中の質問と演習中の討議は日本語使用可。

コース講師

主任講師：田中 弘 Pr.-Dr., Ph.D.

慶應義塾大学大学院経営管理研究科 **Grand Design by Japan** プログラム活動協力教員.

日揮株式会社出身 (42 年勤務) .国際プロジェクトマネジメント界活動歴 30 年,プロジェクトマネジメント協会経営歴 10 年,ヨーロッパ大学院における教員歴 10 年.

(特) 日本プロジェクトマネジメント協会創設者・前理事長,前 **Global Project Management Forum** チェアマン.国立北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科客員教授,東北大学非常勤講師,フランス **SKEMA Business School** プロジェクトマネジメント専攻博士課程客員教授,ウクライナ国立キエフ建設・建築大学並びに国立造船大学名誉教授,ウクライナ科学アカデミー会員.著書 (共著) 英語 2 冊,ロシア語 3 冊,日本語 2 冊.世界におけるプロジェクトマネジメント基盤推進に対して,国家表彰 5 件を含め,海外 14 件,国内 3 件の表彰受賞.

招待講師：Professor Kenji Uchino, Ph. D., MS, MBA, Professor, The Pennsylvania State University & Office of Naval Research

招待講師：井上多恵子 PMS.日本プロジェクトマネジメント協会 P2M 講座講師 (日本語, 英語) 東北大学非常勤講師.製造業企業グローバル人材育成担当

Keio University Graduate School of Business Administration
“Grand Design by Japan” Program

July 6, 7, 15 Special Seminar
Project and Program Management for the Grand Design

Date: Saturday July 5, Sunday July 6 and Monday (national holiday) July 15, 2013 (3-full day seminar & workshop)

Venue: Keio University's Keio Business School, Executive Seminar Room 5th Floor, Kyousei-kan, Hiyoshi Campus

Organizer: Keio Business School (KBS)

Course Objectives

- Learn, in three days, essence of management in project context, a contemporary paradigm of organizational management racing against complexity, competition, time and resources, coveted by Japan to mark a strong stride to being a competitive global player anew
- Know how to apply project and program management fundamentals for innovation to themes of the day, thereby contributing to actions on our common grand goal “Grand Design by Japan”
- Benefit from pragmatic, concise contents but supported by robust theories in the bottom by being exposed to an essential framework of strategy formulation and delivery in a project and program context, in particular, under the current highly complex markets and more broadly socio-economic environment
- Get cross-fertilized among participants with different backgrounds for breakthrough inspiration

Course Language

- English is used for teaching materials, lectures, and participants feedbacks and presentations to endorse the spirit of the “Grand Design by Japan” program and to allow opportunities of non-Japanese speaking graduate students and business persons to participate in the program.
- Partial Japanese conversation is allowed, or lecturer – participants dialogue in Japanese, when necessary, is encouraged during workshop exercises but to the extent that essential discussions are shared by non-Japanese students as well.

Features of the Course

- The course consists of lectures; short discussions; and a one-day workshop.
- The class is a mix of graduate students, business persons and academia from

other disciplines, with different exposure to project environment. No prerequisite is set.

- Course contents are compatible in theories with global practice of project and program management as well as the P2M Guidebook of Project Management Association of Japan (PMAJ) which is widely supported globally by those who pursue new management paradigm to master complexity, and are uniquely laid out by the course director who has 40+ years of experience in the global project management practice and ten years of teaching at graduate schools in Europe.
- Japanese project and program management strength is woven into the course

We are navigating through relentless global competition, unprecedentedly fluid and turbulent politic-socio-economic-technological changes as well as a wave of development. Most organizations, be private or public, are forced to seek breakthrough in their operations to grow or at least survive. Project management, embracing dynamic management paradigm of the day, is a global language in all sectors. At the same time, project management is evolving rapidly to include program management, one tier higher than project management. Globally, project management strongly focused merely on the secure delivery of a project is considerably losing its turf as there are not a sufficient number of projects, or traditional methods do not well support innovation and complexity factors increasingly involved in projects.

This course of three-day seminar and workshop delivers to participants fundamentals of, both project and program management (P&PM) and relevant entrant skills of applying P&PM by means of plain-language courseware, including typical method illustrations.

The course would welcome the participants trying to capture basics of project management, to address complex problems in the society, business and public services by way of program management, or to expand his/her sphere of management.

Faculty

Organizer and Supervisor of the Grand Design by Japan Program:

Professor, Dr. Tomofumi Anagawa, Ph.D.

Keio University, Graduate School of Business Administration

Lead Course Instructor



Professor, Dr. Hiroshi (Hiro) Tanaka, Ph.D. Academician
Practitioner – Producer – Global Analyst – Professor of Project
and Program Management

Pr. Hiroshi Tanaka is Immediate Past President of Project Management Association of Japan (PMAJ). After having worked for 42 years at JGC Corporation based in Japan which is one of the top five engineering and program/project management companies in the world, he served as president of two Japanese project management associations for ten years and have taught project and program management as professor at graduate schools in France (10 years), Ukraine and Japan. He is currently honorary professor at two Ukrainian national technical universities and visiting professor at one French and one Japanese graduate university.

Pr. Tanaka has Ph.D. degree of France and Professor-Doctor degree of Ukraine, and PMP credential of PMI, USA. He is co-author of two English books (McGraw Hill), three Russian books and two Japanese books. He is recipient of 14 awards of professional, industrial and academic contribution in project management from abroad and 3 from Japan, including five government awards (Ukraine, Japan, India and Russia).

Guest Speakers

One or two guest speaker(s) are being arranged for presenting cases.

Course Program

Date		Topics	
July 6	Sat.	0930 ~ 1000	Onsite registration
		Morning	<ul style="list-style-type: none"> • Opening/introduction • Positioning of a project • Role and basic functions of project management • Project management vs. program management • Global trends on project management • Lifecycle of a project • Project development (project conception and feasibility analysis) • Management domains and typical methods of project management ✓ Project scope planning and management ✓ Project organization ✓ Project time management

			<ul style="list-style-type: none"> ✓ Project cost management
		Afternoon	<ul style="list-style-type: none"> • (continued) ✓ Quality in project management ✓ Project resources ✓ Project risk analysis ✓ Project communications • Project integration management
July 7	Sun	Morning	<ul style="list-style-type: none"> ■ Case Study I: Technology venture start-up project ■ Case Study II: Global team operation –global team communications
		Afternoon	<ul style="list-style-type: none"> ■ Q&A on Case Studies • Fundamentals of program management <ul style="list-style-type: none"> ✓ Role of program management ✓ Applications of program management ✓ Conception and framing of a program ✓ Structuring a program • Theme selections and grouping for project/program management workshops
July 15	Mon	Full day	<ul style="list-style-type: none"> • Project/program management workshop ✓ 1000 : Strategy brainstorming on a selected theme ✓ 1100 : Setting a project/program mission, value analysis, development of a project/program proposal ✓ 1300 : Stakeholder analysis, organization, work breakdown structure (WBS), project schedule, costs ✓ 1400 : Finance planning, project/program execution strategy ✓ 1500 : Compiling & editing a result presentation file ✓ 1600 : Result presentation

			<p>Each group for 20 minutes followed by 5-minute Q&A, and instructor feedback</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1730 : Wrapping up the seminar
--	--	--	---

Candidate Themes of Project/Program Management Workshop

- Cool Japan export project (program)
- Eco-smart community development program
- Technology venture start-up project
- Project (program) on the overseas development of Japan's agricultural and or fishery industry
- To be proposed by participants

Assumed Participants

- Members of the KBS "Grand Design by Japan" Program
- Graduate students with KBS, Keio University Graduate School of Science & Technology and other graduate schools
- International graduate exchange students at Keio University and other universities
- Academia
- Delegates from business companies and agencies

Teaching Materials:

To be provided to the registered participants at the Program Secretariat prior to the course (starting June 1st):

- Course Text Slides (PDF slides will be provided prior to the course)
- Project/Program Management Workshop Guide Slide (ditto)

Course Registration

- Two-steps of the Registration, Application, Admittance, and Registration

1-st step: Application should be made by submitting the form to the office of the "Grand Design by Japan" program by July 1, 2013.

2-nd step: The office replied the admittance and registration information is given to each participant by July 1.

Course Certificate

Upon completion of the three-day program, two certificates will be awarded to participants, one from Keio University in Japanese and the other in English by Project Management Association of Japan (PMAJ)/Pr. Hiroshi Tanaka which is a supporting organization of this seminar.

Program Fees

60,000 Yen fee for the course.

(Fees are waived for the official member of the Grand Design by Japan program upon request and conditions.)

Grand Design by Japan

特別セミナー参加申し込み 7月5日締め切り

July 6, 7, 15 Special Seminar Registration

Apply by July 5

“Project and Program Management
for the Grand Design”

Application Form, Grand Design by Japan, Fax. 045-562-3502

Both Japanese and English information is required if available.

Name(氏名) _____

Name of School, Department (所属大学)

_____ Year : Ph.D. Master Undergraduate

Name of Affiliation, Position (勤務先) _____

Address 〒 _____

住所 : 〒 _____

Contact : Tel.: _____ Fax.: _____ E-mail: _____

Additional Information: _____

Contact Information

Office of the Grand Design by Japan Program

Keio University, Graduate School of Business Administration

4-1-1 Hiyoshi Kohoku, Yokohama-city, Japan 223-8526

Tel. 045-564-2015, Fax. 045-562-3502

E-mail : keio.grand.design@gmail.com, Anegawa

HP [http://anegawa.kbs.keio.ac.jp/Grand_Design_Project/index2.html]

Past Lectures [<http://www.ustream.tv/channel/keio-grand-design/videos>]

Grand Design of Japan - A New Education on USTREAM

URL [<http://www.ustream.tv/channel/keio-grand-design>]